

# 日誌

日誌 07月21日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.3 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 07月21日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 07月21日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月21日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 07月22日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	処方鑑査
	10:00	プロトコール作成
		健康セミナー準備
	11:00	
		地域食堂
	12:00	健康セミナー発表
		休憩
	13:00	スライド発表の例を聞く
	14:00	粉碎
		散剤調剤
	15:00	
16:00	服薬指導 薬歴記載	
	日誌作成	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 07月22日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

循環器内科からの処方箋で、フロセミド20mg、40mg、スピロノラクトン、トルバプタン、リクシアナ、エソメプラゾール、アコフアイド、ビオスリー、フォシーガ、塩化カリウム、フェロ・グラデュメットが出ている患者さんがいらっしゃった。  
患者さんからの希望で一包化してほしいとのことで、処方箋には一包化の指示がなかったため、プロトコールを書いた。また、整形外科からエルデカルシトール、フェブキソスタット、もう1つ出ており、これらも併せて一包化します。というものだった。  
処方鑑査して、考えたのは心不全だった。利尿薬やSGLT2阻害の点から水分をとにかく出したいのかなと思った。リクシアナが処方されているのも前にイベントがあったのかなと思った。低カリウムや鉄欠乏性貧血、胃腸薬についてはそれぞれが独立しているのかなにかに付随するものなのかまでは調べられなかった。  
健康セミナーの準備は頭が真っ白になったら怖かったのでシミュレーションして、言い回しなどを紙に書いて整理した。  
発表は全然緊張せず、反応していただけるので楽しんでできた。お茶の用意などご協力ありがとうございました。  
休憩明けに智弘さんから今回作ったスライドを使ってお話していただいた。興味を引くような話題から入って全部に関連してまとめまで飽きないようにする能力がすごいなと思った。  
クロチアゼパムを粉砕して、乳頭で賦形した。  
服薬指導は口腔内に塗布する軟膏だった。前回新規での薬だったので副作用の確認はできた。

# 日誌

日誌 07月22日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	○
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月22日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	今回の処方鑑査をどのようにするのか聞く 発表が苦手なわけではないがやりたくないなと思っていましたが、今回やってみて 学校でやるのとは全然違うことがわかった。健康サポート薬局などでセミナーを やる時に今日のことを思い出そうと思った。
添付資料	健康セミナー2.pdf プレゼンテーション1.pptx
薬剤師のコメント	健康セミナーお疲れ様でした。本当にがんばりました。とっても喜んでくれていた 皆さんの顔が印象的です。 少しずつでも地域の皆さんの健康に対する意識が向上すること、それを体験する ことができたんじゃないでしょうか。  処方監査のほうもかなり慣れてきてますね。細かい点に関しては、きっと繰り返 していくうちに身に付いていくと思います。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 07月23日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.2 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	疑義照会
		一包化
	10:00	
		服薬指導 薬歴記載
	11:00	調剤
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	調剤
15:00	服薬指導 薬歴記載	
16:00	フィードバック	
	日誌作成	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 07月23日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

エリスロマイシンが処方されていた。完全に出荷が停まっていた新規での処方だと薬が出せないという旨の疑義照会をした。  
服薬指導は感染症と認知症の方だった。  
1件目の感染症はアンブロキソール、テオフィリン、アドエアが処方されていた。急性期の処方のはずなのに1ヵ月前から同じ処方だったのでなにかあるのかなと思った。症状は咳で長引いているだけだった。初回の薬歴に咳と書いてあったので、チェックシートだけでなくパソコンで見たら症状がわかったのかもしれないと思った。  
アドエアを患者さん本人は使えていると言っていたが、副作用を確認したらたぶんちゃんとは使えておらず確認の難しさを学んだ。  
2件目の認知症の方は、同じ薬が出ていた。デイのことを聞いたら、わからないという答えは出ず、色々話していただけたので、認知症が進んでいないことが確認できた。

# 日誌

日誌 07月23日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月23日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	一包化の時に薬を飛ばしてしまうことがあるので安全に気をつける。 急性期の処方と同じで受診している間隔が短い時は全部薬歴を確認する。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 07月24日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	緩和領域の話
		調剤
	10:00	散剤
		調剤
	11:00	
		服薬指導 薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	
		服薬指導 薬歴記載
	14:00	在宅訪問
		報告書記載
15:00	フィードバック	
16:00	日誌作成	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 07月24日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

散剤の調剤はてんかんの薬であるバルプロ酸Naの除放性顆粒だった。36.75gだったので量多いなと思いながら薬包紙に測った。必ず全量を測ることを学んだ。そして、プラスチックの容器でも良いことを学んだ。

医療安全の1種としてバラ錠のあるものにシールを貼った。病院では注意のものにシールが貼ってあることや、薬局でも適応症によって薬が分けられているところもあることを学んだ。

1件目の服薬指導では、薬の内容が変わっていなかったのになにを話そうかなと思っていたら自分から話してくれる患者さんだったので色々な話を聞いた。混雑していたら話を切り上げようと思っていた。そんなに混雑していなかったのと、1人だという情報があったので、薬局がコミュニケーションの場なのかなと思い、最後まで聞くことにした。

フィードバックでは、話の主導権を握る方法を学んだ。実践するには難しいが、今後そのような技も身につけていかなければいけないと感じた。

また、飲んでない薬があるけど、先生から飲まなきゃいけないという話があったためその問題点について聞けばよかったと思った。

2件目はいつもの薬+風邪症状の患者さんだった。

事前の情報が結構重かったがそんなに気にしていなかった。トローチ剤が処方されていたのでそっちの説明の方が気がかりであった。

フィードバックで、今回の処方内容からではなく、話の中から患者さんの問題点を見つけた。これを、自分で服薬指導している時に疑問に思うことができたらいなと思った。またわ他の薬局から出ている薬を後からでも確認できるマイナンバーの仕組みすごいなと思った。

在宅訪問は確認することはいつもと変わらなかったが、減薬の意思があるかの確認を課せられたので、聞いてみた。出されているから飲むくらいの認識なのかなという感じだった。

# 日誌

日誌 07月24日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月24日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	服薬指導中に問題点が見つけられなかった。そして、見つけられたらそれをどうしたらいいのかを考える。 アムロジピンOD錠5mg「トーワ」を最初メーカー違いを拾ってそのあとトーワのODでないものを拾ってという確認不足で時間がかかってしまった。 最初に弾かれたらしっかり確認しなくてはなと思った。 アムロジピンOD錠での処方なのにたまにODでなくて良い時もあるからなるべく拾う前に確認しようと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	「服薬指導中に出てくる問題点」すごくいい表現ですね。そしてピックアップしていることがとてもうれしいです。 そもそも服薬指導中に出てきた問題点と言うのは、一般的に患者あるいは医療上注目すべき問題点であることが多いような実感があります。 このため服薬指導は他の業務と比べると、はるかに集中力を要するんじゃないかなと思います。 だんだんと相手の話した内容が記憶に残ってきている渡辺さんならできるようになると思いますよ。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 07月25日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5   良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	在宅準備
		調剤
	10:00	一包化
	11:00	ヒビ入れ
		粉碎
	12:00	休憩
	13:00	
	14:00	在宅準備
		在宅訪問
	15:00	フィードバック   鼻水について
16:00	服薬指導   薬歴記載	
	日誌作成	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患   (0)名、免疫・アレルギー疾患   (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患   (0)名、免疫・アレルギー疾患   (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 07月25日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

午前中は小児在宅の子の準備をした。  
錠剤の一包化をする時に、簡易懸濁をする用でモサプリドにヒビを入れた。モサプリドにヒビを入れたのと入れていないのでお湯に溶ける速度を測った。  
ヒビを入れた方は20秒しないくらいで崩壊したが、入れていない方は1分?2分くらいかかった。  
ラメルテオンを0.125mg/回にするために、粉碎した。フィルムコートにへばりついている薬を取るのが大変だと感じた。その後は一包あたり0.2gにするため、計算して乳糖で賦形した。  
種類が多く、一包化する際に合っているのか不安だった。  
午後は在宅訪問で実習最後の在宅だった。  
新規の薬(シロドシン)が処方されており、薬効や体にどのような事が起こるのかを調べて伝えた。  
先週の先生に宛てた手紙とは違う薬ではあったが、前立腺肥大があったのだと思った。悩みが解消されたらいいなと思った。また、鼻水に関してはストレスなどによる自律神経なのかなと考えた。メンタル系の副作用で止まるならそうなのかなと。フェブキシソスタットでも抗生剤でも止まらないため。  
服薬指導は薬が変わらない患者さんで、1ヶ月以上早めに受診していた。薬がなくなっちゃうから…ということだったが、どこかにあると思いますという内容だった。年齢の割にしっかりしておられて、すごいなと感じた。

# 日誌

日誌 07月25日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月25日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	昨日の在宅訪問はそこまで難しいと感じなかったが、今日は難しかった。 薬をわかりやすく説明するために自分の中に落とし込んでからでないといけないので、智弘さんの説明がとてもわかりやすいので薬がどのように働くのかを説明する機会があれば同じように説明してみようと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 07月26日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		服薬指導   薬歴記載
	10:00	
		フィードバック
	11:00	服薬指導   薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	フィードバック
	14:00	到達度評価
	15:00	お手伝い
16:00	日誌作成	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患   (0)名、免疫・アレルギー疾患   (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患   (0)名、免疫・アレルギー疾患   (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 07月26日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

調剤は糖尿病治療薬が4剤併用での処方だった。  
服薬指導は1件目、心不全の患者さんで、アゼルニジピンとビソプロロールが処方されていた。  
フィードバックにて、既往歴に悪性リンパ腫があり、この先もし貧血等により低血圧を起こしたらどちらの薬をなくすかという話をした。アゼルニジピンは適応症が高血圧のみで、ビソプロロールは高血圧、狭心症、心不全、心房細動などの複数の適応症があった。そのため、低血圧が起こった際になくすのはアゼルニジピンだろうという結論に至った。  
既往歴から現在の処方での今後の推察や見通しを立てることを学んだ。  
2件目は感染症の患者さんで、症状は伺った。胃薬も出ておりずっと胃の調子が悪いということであった。  
相変わらず、AとPを立てるの下手だなと思った。  
昨日の服薬指導のフィードバックを受けた。  
ラベプラゾール、エゼアトLD、フロセミド、スピロノラクトン、エフィエント、スピリーバが処方されていた。  
エゼアトからコレステロール値を下げたいこと、フロセミド、スピロノラクトンから体の水分を出したいことまではわかった。  
抗血小板薬が入っていることから心筋梗塞である事が予想された。  
また、スピリーバが処方されており、痰切り用であると考え、心不全によって肺水腫になり痰が出てくることが処方解析からわかることであるらしい。  
テラムロなど調剤した。  
新患さんの奥様が薬をもらいにきて、お薬手帳もマイナンバーもなく、履歴がわからない状態での服薬指導を聞いた。そのような時にどう服薬指導するか学ばなければいけないと思った。  
血液検査の結果のコメントを返す時に患者さんがなにを求めているのかを考えてフィードバックをすることを学んだ。  
高コレステロールと糖尿病がメタボリックシンドロームのイメージがあったのでなにかしら繋がりがあると感じていたがそんな事なかった。副作用で糖尿病になりやすくなるということを頭に入れておこうと思った。

# 日誌

日誌 07月26日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月26日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	処方解析が、薬剤を単独で見たら適応症がなにか、分かるようになってきたが、総合的に見て解析することは難しいなと感じた。 単独の作用を考えていくと、結びつくのでこの病気にはこの処方と大抵決まっているものがあるなら考えてみようと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 07月27日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.2 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 07月27日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺   新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 07月27日

東邦大学

学籍番号( 1021239 )

氏名( 渡辺 新夏 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 07月27日                      東邦大学                      学籍番号( 1021239                      )                      氏名( 渡辺 新夏                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	